



ひとの＊ちから
CLOSE UP

荒尾市体育指導委員協議会副会長
荒尾市健康推進員協議会会長

秋富しつゑさん

あきとみ しつゑ ● 1944年生まれ、中央東在住。自動車の運転免許証を持っていない秋富さん。スポーツに関する講習などを受けに行くときは、夫の勝正さんが車を運転し、待っていてくれるそう。「感謝してます」と、はにかんだ笑顔で話してくれました。

「いちっ、にっ、さん、しー」切れのある掛け声とともに、参加者は機敏に身体を動かします。一人一人の動きをチェックしながら、ゆっくりと見回るのは、秋富しつゑさん。荒尾市体育指導員と荒尾市健康推進員として活躍しています。

この日は週に一度の中央ふれあいスポーツの筋力アップ体操の日。受講者は80人程で、この日はおよそ70人が参加しました。8年前に就任した健康推進員としての活動の一つが、市内約20カ所で行っている65歳以上の人が対象の「筋力アップ体操」の教室です。中央ふれあいスポーツでは、

65歳未満でもこの体操をしたいという人を対象に、秋富さんが個人で実施しています。運動の合間に掛かる秋富さんのユーモア溢れる言葉に、笑い声が何度も弾けます。楽しみながら体操する参加者は、みんな生き生きと明るい表情ですが、中で最も快活なのは、秋富さんかもしれません。「人に喜んでもらえることが嬉しい」と語る秋富さんは、若い頃からスポーツ一本。小学生の頃から身体を動かすことが大好きだったそうです。「主にバレーボールとバドミントン、陸上をやっていました」という秋富さんは、若

い頃からほぼ毎日、市民体育館に顔を出していました。37歳のとき、ある体育指導員から「後任になつて欲しい」と話がありました。今は催しなどの企画・立案をするよりも多くなった体育指導員ですが、当時はスポーツの指導がメイン。自分に向いていると思つて引き受けました。

「私はね、ほかでやっていないことを何でもやってみたいの」と笑う秋富さんは、社会体育課の職員とも協力し、まずはビーチボールバレーを導入。その後も、グラウンドゴルフやペタンク、インディアカなどを取り入れました。そしてその度に必要な資格も取得。定期的な講習の受講も欠かしません。ひとえに、参加する人にきちんとした指導をしたいという熱意と、自分自身もつと学びたいという意欲の賜物です。

現在最も力を入れていることのの一つが、健康推進員としての「筋力アップ体操」と2030あらゆる有明優都戦略事業で行っている「ビート・コア・ウォーキング」。どちらも秋富さんの提案です。無理なく取り組むことができ、短時間で効率よく運動ができるこれらは、若い人から年配の人まで誰にでも親しみやすいものです。より多くの人に参加してもらい、市民の皆さんの健康をサポートしたいと話します。

「荒尾市の医療費が目に見えて下がった」という話を聞くことが、私の夢です」スポーツと、何より人が大好きな秋富さん。好きだから体力が続く限り続けたいし、市民の皆さんに元気になつて欲しい。今年体育指導員として30年目を迎えるベテランは、生き生きとした笑顔を市内各地で振りまき、元気を発信しています。



1 ビート・コア・ウォーキングには、老若男女、さまざまな年代の人が参加しています。[取材 2010年7月6日(火)]
2 あらお梨の花元気ウォークでは、出発前に準備運動を指導。いろいろな行事で参加者の安全を支えている秋富さん。[取材 4月2日(土)]
3 中央ふれあいスポーツの筋力アップ体操は、笑い声にたびたび包まれていました。[取材 5月19日(木)]